

ベッドの活用とフレックスボードで激変！！

～きっかけは入浴介助！ 移乗が異常に楽になったよ～

医療法人 博愛会
介護老人保健施設 博愛苑

事業に参加したきっかけ

・ノーリフティングをすすめていこうとするも、なかなか進まない
・進め方の流れが分からない

・介護度が上がってきているため腰痛対策の必要性を感じるようになった
・腰痛はあるけれど、抱え上げての介助や時間効率を優先している

事業に参加することで進めていくヒントになるのではないかと
気を取り直し、再度チャレンジできるのではないかと



3

事業への取り組み前の状況

2年前

ノーリフティングの取り組み開始

抱え上げない介護を進めていくために委員会を発足

- ✓発足するも何から手をつけていいか分からない
- ✓リスクマネジメントや腰痛調査は進め方が分からない
- ✓ひとまず福祉用具を導入してみることに…

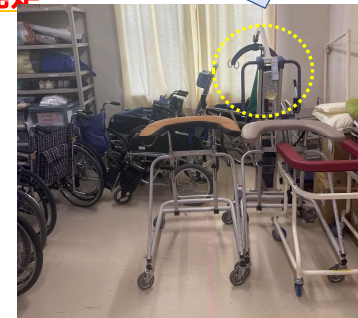
グローブ、トランスファーボード、リフト導入

- ✓福祉用具を購入し、導入に向け進めようとするが…

福祉用具の活用や身体の使い方は進まず

- ✓抱え上げでの介助、中腰姿勢での介助が当たり前
- ✓リフト等の福祉用具は使われずに、置物になっていた

リフトは倉庫の置物に…



2

ノーリフティングケアの取り組み ～スタッフへの伝達～

- 実践マニュアルの内容に基づき、パワーポイントで資料を作成し伝達
✓テキストのチェック表で理解度を評価
- 技術面ではノーリフティングメンバー内に技術認定スタッフが在籍
✓メンバーに技術伝達し、身体の使い方や福祉用具の使用方法をチェック
✓その後フロア職員へ指導→チェック表で動作確認を実施



● 技術伝達後、業務へ反映させる際のポイント

- ✓ 職員に効果を実感してもらえるように介助負担の大きい入浴場面、オムツ交換時から介入を開始

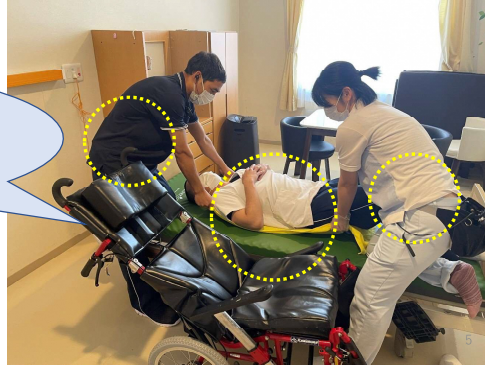
4

ノーリフティング取組**前**の入浴介助

問題点：タオルで抱え上げて移乗、移乗回数が多い、不良姿勢

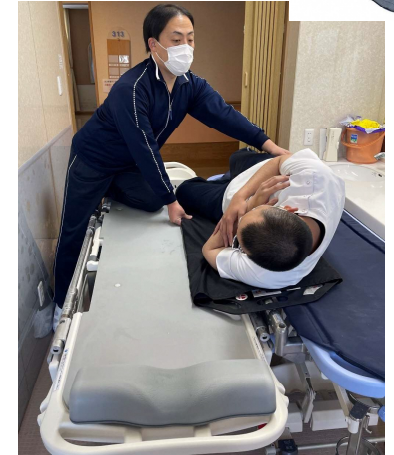
- 流れ：居室ベッド→車いす→更衣用ストレッチャー→入浴用ストレッチャー→**入浴**→更衣用ストレッチャー→車いす→居室ベッド
- 移乗回数：6回
- 介助方法：重度利用者の介助は**タオルを敷き、抱え上げて移乗**
ベッドの高さ調整をせず

- ・バスタオルを背中へ敷き二人介助で移乗
- ・ベッド高さも変えておらず不良姿勢



ノーリフティング取組**後**の入浴介助

- 流れ：居室ベッド→更衣用ストレッチャー→入浴用ストレッチャー→**入浴**→更衣用ストレッチャー→居室ベッド
- 移乗回数：4回に減少
- 介助方法：全て**移乗ボード**を使用
ベッドの高さを調整



浴室の環境



- 車いすからストレッチャーへ移乗した高さのまま介助を実施
- 浴室の整理をせず、狭い環境で介助



- 浴室の環境を整理
- ストレッチャーの高さや身体の使い方を意識

オムツ交換



- ベッドの高さ調整、ベッド柵を取らずケアを実施



- ベッドの高さ調整、ベッド柵、身体の使い方を意識したケアを実施

セルフケア



・朝、昼のミーティング時に実施



・オムツ台車にイラストを貼り、いつでも実施できるように対応



- 業務開始前後、合間などに実施
- 即時効果を実感しやすく、比較的スムーズに導入可能

職員の声

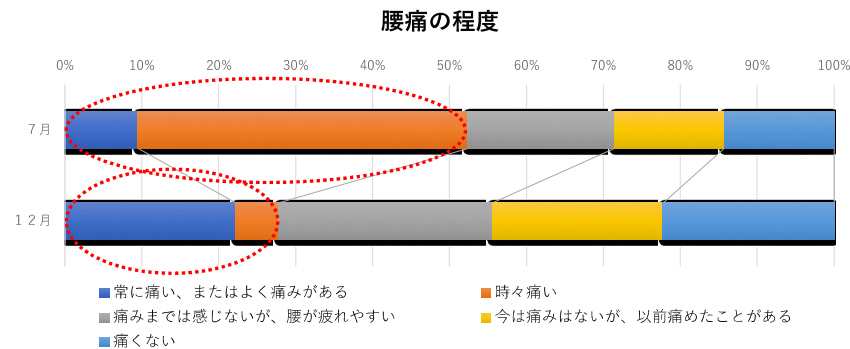
・腰が痛くなる不安から解放された
 ・気が楽になった
 ・移乗時に無理をしなくなった
 ・福祉用具が使えるようになった

・シートが無いと不安
 ・ベッドの高さ調整が当たり前になった
 ・移乗ボードがもう一つ欲しい



ノーリフティングの考えが広まりつつある

腰痛調査



- 7月→12月で腰痛保持者が減少
 - ✓ ノーリフティングも進んできており、順調な経過
- 常に痛みがある職員は増加
 - ✓ 慢性腰痛となっている可能性もあるため、定期的な面談を実施していく

今後の課題

- 職員への意識の定着
 - ✓ 時短ケアや職員都合を優先させない
- 体制作り
 - ✓ 新入職員に対してのマニュアル作成
- 使用頻度の高い福祉用具の選定
 - ✓ 現場の状況を評価し、導入
- 在宅復帰困難事例への介入
 - ✓ 福祉用具の活用や身体使い方の指導

